

令和 3(2021) 年度東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻博士後期課程入学志願者案内

1. 出願資格

入学志願者は大学院博士後期課程の出願資格（詳細は工学系研究科博士後期課程学生募集要項を参照）を有していなければならない。ただし、その専門分野および資格取得年次は問わない。また、外国の大学院において修士に相当する学位を授与された者は、原則として博士後期課程の入学の前に少なくとも 6 ヶ月間研究生として在籍しなければならない。

なお、令和 3（2021）年度の博士後期課程の入試は今回だけである。（年 1 回）

2. 希望指導教員及び系

大学院入学者は指導教員のもとで研究を行うので、入学志願者は研究の指導を希望する教員名（第一希望、第二希望、各 1 名ずつ）及び系を、4 ページに示す指導教員の一覧から選択し、別紙 1 の希望指導教員申告書に記入すること。

各教員は 6 つの系（意匠系、計画系、歴史系、構法系、環境系、構造・材料（構材）系）のうちいずれか 1 つの系に所属している。各教員が所属する系は 4 ページの一覧に示されている。

3. 提出書類

「令和 3(2021)年度東京大学大学院工学系研究科博士後期課程学生募集要項」に示された提出書類等に加えて、以下の表に示す書類を提出すること。提出方法の詳細は建築学専攻 Web サイト (<https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/>) にて発表する。

各書類の受付期間は次の通りである。

- (1) 希望指導教員申告書及び推薦状
2020 年 7 月 1 日（水）から 7 月 8 日（水）まで
- (2) 研究計画書及びポートフォリオ
2020 年 7 月 1 日（水）から 7 月 31 日（金）まで

書類	提出者	摘要
希望指導教員申告書	全員	別紙 1 により作成すること。
推薦状	該当者	東京大学大学院工学系研究科以外の大学院修了又は修了見込みの者は、推薦状 2 通（書式自由、A4 版 1 枚以内：一通は出身大学院の教員が差出人）を提出すること。
研究計画概要書	該当者	東京大学大学院工学系研究科修士課程を修了または修了見込みの者は、別紙 2 により作成すること。
研究計画書	該当者	東京大学大学院工学系研究科修士課程を修了または修了見込みの者以外の者は、希望指導教員の系に応じて、以下別紙に従い作成すること。なお、同じ系に属する複数の指導教員を希望する場合、その系については最も上位の希望指導教員についてのみ作成すること。また、複数の系の指導教員を希望する場合、系ごとにそれぞれ作成すること（例：第 1 希望が意匠系、第 2 希望が計画系の場合、第 1 希望及び第 2 希望の研究計画書を作成すること）。 ①意匠系：別紙 3A、②計画系：別紙 3B ③歴史系：別紙 3C、④構法系：別紙 3D ⑤環境系：別紙 3E、⑥構造・材料系（構材系）：別紙 3F ※別紙 3A～3F については、2020 年 5 月 29 日に建築学専攻 Web サイト (https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/) にて発表する。
ポートフォリオ	該当者	東京大学大学院工学系研究科修士課程を修了または修了見込みの者以外で、意匠系、計画系の指導教員を希望する者は、希望指導教員の系に応じて別紙（3A、3B）の要領に従い、作成すること。なお、意匠系及び計画系の指導教員を希望する場合、それぞれ指

		定の要領に従い作成すること。この場合、両者の内容は一部重複しても構わない。
--	--	---------------------------------------

4. 募集人員と入学時期

2021年度の建築学専攻・博士後期課程の募集人員は16名である。なお、建築学専攻では、入学後の研究指導が特定の教員に偏ることを避けるため、教員一人当たりの受入人員に制限を設けている。合格者の入学時期は、通常、2021年4月である。ただし、2020年9月までに大学院修士課程を修了あるいは修了見込みであれば、2020年9月に入学することが可能である。

5. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、以下に示す第1次試験及び第2次試験により行う。
- (2) 第1次試験の口述試験は、第1次試験の書類審査合格者に対して行う。書類審査合格者は、建築学専攻のWebサイト (<https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/>) において、2020年8月19日(水)正午までに発表する。
- (3) 外国語(英語)の能力を第1次試験の書類審査及び口述試験において審査する。ただし、英語能力試験の成績証明書(TOEFL, IELTS, TOEICなどのスコア)を取得している者は提出してもよい。この成績証明書により口述試験での英語の審査を免除する場合がある。

1) 第1次試験

(A) 書類審査

提出書類のうち、出身大学及び出身大学院の成績証明書、研究計画書、ポートフォリオ(ポートフォリオは意匠系、計画系の指導教員を希望する者のみ)及び推薦状により書類審査を行う。ただし、東京大学大学院工学系研究科修士課程を修了または修了見込みの者に対しては、書類審査は省略される。

(B) 口述試験

- (a) 東京大学大学院工学系研究科修士課程を修了または修了見込みの者
提出された研究計画概要書に関する面接を行う。外国語(英語)の審査は免除される。
- (b) (a)に該当しない者
建築学に関する知識、提出された研究計画書及びポートフォリオ(ポートフォリオは意匠系、計画系の指導教員を希望する者のみ)に関する面接を行う。

2) 第2次試験

修士論文等(修士論文もしくはそれに代わりうる研究論文など)を発表し審査を受ける。志願者は修士論文等(日本語又は英語の場合)を提出する。

その他の言語の修士論文は、論文(原文)の他にその論文の内容を要約したもの(日本語又は英語、A4様式1ページ400字数で30ページ程度)を次ページの締切日までに提出しなければならない。提出方法の詳細は建築学専攻Webサイト (<https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/>) にて発表する。

なお、本専攻の修士課程から継続して博士後期課程に進学する志願者においては、本専攻の提出要領に従う。

6. 試験日程

1) 第1次試験

口述試験は、2020年8月24日(月)～8月28日(金)に、東京大学工学部1号館及び11号館において行う。日時、場所の詳細は、2020年8月19日(水)正午までに建築学専攻のWebサイトにおいて発表する。なお、新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、オンラインによる面接で代替することがある。代替する場合には、本専攻のWebサイト (<https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/>) で試験日の1か月程度前までに周知する。

2) 第2次試験

試験科目	対象者	日時	試験場	備考(重要)
修士論文等*1の発表と審査	2021年4月入学希望の全志願者	2021年 1月25日(月) 1月26日(火) 予定	1号館 11号講義室 及び 12号講義室*3	発表・審査会等の詳細は追って掲示もしくは本専攻の Web サイトで発表する。修士論文等を2021年1月18日(月)16:00までに提出する。提出方法の詳細は建築学専攻 Web サイト (https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/) にて発表する。
	2020年9月入学希望*2で、2020年9月に本専攻修了見込みの志願者	2020年 8月3日(月) 8月4日(火)	1号館 15号講義室*3	発表・審査会等の詳細は追って掲示もしくは本専攻の Web サイトで発表する。修士論文等を2020年7月27日(月)16:00までに提出する。提出方法の詳細は建築学専攻 Web サイト (https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/) にて発表する。
	2020年9月入学希望*2で、上記に該当しない志願者	2020年 8月27日(木) 8月28日(金)	1号館 15号講義室*3	

*1 東京大学大学院工学系研究科修士課程建築学専攻以外を修了した者または修了見込みの者は、発表当日、配付用に論文の概要等(ページ数自由、日本語又は英語)を20部程度用意すること。

*2 2020年9月までに修士課程を修了した者または修了見込みの者でなければならない。

*3 新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、オンラインによる発表で代替することがある。代替する場合には、本専攻の Web サイトで試験日の1か月程度前までに周知する。

7. 注意事項

- (1) 入学試験受験者心得(本専攻の Web サイトに掲載(<https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/>))をよく読んでおくこと。
- (2) 受験票の写真で試験時に本人照合を行う。本人と確認できない場合は、失格となることがある。
- (3) 書類審査で不合格となった場合でも検定料の返金を行わない。
- (4) 新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、オンライン試験を行う可能性があるため、静かな個室等の静寂が担保できる環境、光 LAN 等の高速ネットワーク環境、カメラ・マイク付きパソコン及び緊急連絡用スマートフォン(4G)を口述試験及び第2次試験までに準備しておくこと。
- (5) 今後、新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、本案内の内容について、一部変更する可能性がある。変更する場合は、本専攻 Web サイト(<https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/>)で知らせる。
- (6) その他、本専攻 Web サイト(<https://arch.t.u-tokyo.ac.jp/>)で関連情報を周知するので、随時確認すること。

建築学専攻の指導教員と専門領域の一覧（教員名は五十音順）

教員名	所 属	系	専 門 領 域
赤司泰義 教授	工・建	環境	建築エネルギーシステム、建築熱環境、運用・管理、ミッションング
糸井達哉 准教授	工・建	構材	リスク・レジリエンス工学、荷重論、地震工学
今井公太郎 教授	生 研	計画	建築計画・建築設計・都市解析
伊山 潤 准教授	工・建	構材	鋼構造・耐久性工学・地震波動解析
海野 聡 准教授	工・建	歴史	日本建築史・東アジア木造建築史・文化遺産
大岡龍三 教授	生 研	環境	都市・建築環境工学(熱・空気・エネルギー)・サステイナブルエンジニアリング
大月敏雄 教授	工・建	計画	建築計画・住宅地計画・ハウジング・住宅政策・復興デザイン
加藤耕一 教授	工・建	歴史	西洋建築史・近代建築史・建築理論
川口健一 教授	生 研	構材	構造解析・空間構造工学
川添善行 准教授	生 研	意匠	建築意匠・風景論
菊本英紀 准教授	生 研	環境	都市・建築環境、環境制御工学
楠 浩一 教授	震 研	構材	耐震工学・強震観測・鉄筋コンクリート構造
腰原幹雄 教授	生 研	構法	木質構造・建築構法
権藤智之 特任准教授	工・建	構法	建築生産・建築構法
坂本慎一 教授	生 研	環境	建築音響・騒音制御
佐久間哲哉 教授	工・建	環境	音環境・建築音響・騒音制御・居住環境
塩原 等 教授	工・建	構材	鉄筋コンクリート構造・耐震工学
田尻清太郎 准教授	工・建	構材	耐震工学・鉄筋コンクリート構造
舘 知宏 准教授	総文研	構材	構造幾何学、コンピューショナルデザイン
千葉 学 教授	工・建	意匠	建築意匠・都市空間デザイン
中埜良昭 教授	生 研	構材	耐震工学、鉄筋コンクリート構造、地震・津波防災
野口貴文 教授	工・建	構材	建築材料・資源循環・低炭素・耐久設計・維持保全・建築防火
林 憲吾 准教授	生 研	歴史	アジア都市・建築史、アーバンサステイナビリティ学
藤田香織 教授	工・建	構法	木質構造・伝統構法
本間健太郎 准教授	生 研	計画	建築計画・空間デザイン数理
本間裕大 准教授	生 研	計画	建築計画・都市解析・社会システム工学
前 真之 准教授	工・建	環境	建築環境 特にサステナブル住宅のデザインと要素技術開発
松田雄二 准教授	工・建	計画	建築計画、医療福祉施設計画、ユニバーサルデザイン
丸山一平 教授	工・建	構材	建築材料学、極限環境材料開発、保全工学
三谷 徹 教授	工・建	意匠	ランドスケープデザイン、空間形態論
野城智也 教授	生 研	構法	建築生産・マネジメント、サステナブル建築、BIM 及び建築用 IoT
安原 幹 准教授	工・建	意匠	建築意匠・建築設計
山田 哲 教授	工・建	構材	鉄骨構造・耐震工学・免震構造・制振構造
横山ゆりか 教授	総文研	計画	建築計画、環境行動・環境心理学、設計方法論

(注) 工・建：工学系研究科建築学専攻
 震 研：地震研究所
 生 研：生産技術研究所
 総文研：大学院総合文化研究科
 構材：構造・材料系

本郷
 弥生
 駒場Ⅱ
 駒場Ⅰ

(博士後期課程入学志願者用)
(For doctoral course applicant)

別紙 1 / Attachment No. 1

希望指導教員申告書
Prospective academic supervisors declaration form

受験番号 *1
Exam ID *1

*1 は記載しないこと / *1 Do not fill in

受験者氏名
Examinee Name

電子メールアドレス
E-mail Address

緊急連絡先
Emergency Contact

研究の指導を希望する教員を「令和 3(2021)年度東京大学大学院工学系研究科建築学専攻博士後期課程入学志願者案内」4 頁の表から最大で 2 名選択し、以下の欄に教員名及び系を記入すること。

Applicants must select up to two prospective academic supervisors from the table on pages 5 and 6 of "2021 Guide to the Doctoral Program Entrance Examination Department of Architecture, Graduate School of Engineering, The University of Tokyo" and write their names and research divisions in the following table.

	第一希望 First choice	第二希望 Second choice
教員名 Academic supervisor name		
系 Research division		

研究計画概要書
Research Plan Summary

受験番号 *1

Exam ID *1

*1 は記載しないこと / *1 Do not fill in

受験者氏名

Examinee Name

口述試験の参考となるので、現在行っている研究及び将来の研究について具体的に記述すること。ワープロ等で作成（A4 サイズ・片面 1 枚）し、添付可。

State present research content and the future research detail for the interview. You can make by PC (ONE A4 size sheet, single side printing) and attach.